

學會彙報

○昭和五十年年度漢文學會總會

〔漢文教育研究會〕六月二十一日(土) 於東京教育大學

シンポジウム「古典Ⅱ乙漢文の指導について」

問題提起者 佐野女子高 加藤 章氏

九段高 若林 力氏

熊谷高 渡邊修一郎氏

司會 田部井、横山委員

〔懇談會〕

「學會今後の運営について」司會 高橋、中村委員

〔研究發表會〕六月二十二日(日) 於東京教育大學

一、章炳麟「五無論」について 大學院 長瀬 瑞己氏

一、創造社論 大學院 小谷 一郎氏

一、盧思道の文學について

東京教育大附屬高講師 安藤 信廣氏

一、「很不十形容詞」について 大學院 相原 茂氏

一、「股本紀」考

―股周交替期の表現の意味について―

福島大 大久保隆郎氏

一、湛甘泉の「二業合一」について 板橋高 志賀 一朗氏

一、君山瀧川資言の爲人

―父資則、及び交友關係を中心として―

群馬高専 水澤 利忠氏

一、「澤及昆蟲則聖人歸之」につき

―茂吉短歌と前書の背景私攷― 北園高 渡邊弘一郎氏

司會 内山、横山、高橋、中村、松本、間嶋、長瀬委員

〔總會〕司會 内山委員

一、議長選出 志賀一朗氏を選出

二、報告

(1) 庶務報告 向島 委員

(2) 研究一部報告 向島 委員

(3) 研究二部報告 向島 委員

三、議事

(1) 昭和四十九年度決算 横山 委員

(2) 昭和五十年年度豫算 横山 委員

四、委員長挨拶 鈴木委員長

〔懇親會〕司會 水澤、中村俊氏

○昭和五十年度月例会

十月例会 十月二十五日(土) 於東京教育大學

一、文選の詩と唐の「省試詩」試験

東京教育大 鈴木 修次氏

十二月例会 十二月六日(土) 於東京教育大學

一、西晉時代の四言詩について

―鞏虞の詩を中心として― 大學院 後藤 秋正氏

一、魏晉の「七哀詩」について 東京教育大 向島 成美氏

一月例会 一月三十一日(土) 於東京教育大學

一、孔廣森の『春秋』論

東京教育大 中村 俊也氏

一、倪瓚について

東京教育大 横山伊勢雄氏

五月例会 五月二十二日(土)

於東京教育大學

一、表現のめざすもの

—唐宋八大家の場合—

大學院 松本 肇氏

一、九日詩

—杜甫の作品について—

大學院 加藤 敏氏

○昭和五十一年度漢文學教室講義

(一) 一般教育科目

大木 講師 漢文學講讀

(二) 外國語科目

志村 講師 中國語一(文法・作文)

〃〃〃 〃〃二(講讀)

許勢 講師 中國語二

〃〃〃 〃〃三(上級)

(三) 専門教育科目

牛島 教授 中國言語學演習(現代語法)

松本 助教授 中國言語學特講

横山 助教授 中國文學史

鈴木 講師 中國文學講讀(唐代文學論)

山井 講師 中國思想史講讀

水澤 講師 日本漢文學講讀

王 講師 中國言語學特講(福建語)

伊藤 講師 中國文學特講(中國現代文學史)

戸川 講師 中國哲學講讀演習

楠山 講師 中國思想史

向島 講師 中國文學演習

(四) 大學院科目

牛島 教授 中國言語學講讀(現代北京語)

松本 助教授 中國言語學講義

横山 助教授 中國文學(陸游)

鈴木 講師 中國文學(唐代文學論)

山井 講師 中國思想史

戸川 講師 中國哲學

○文學部紀要論文題目(昭和五十一年三月)

一、謝朓の詩について

向島 成美

○昭和五十年年度修士論文題目

一、創造社論

小谷 一郎

一、劉基詩研究

中山 至

一、初期話劇運動研究

細谷美代子

一、鄭玄周禮注研究

間嶋 潤一

○昭和五十年年度卒業論文題目

一、臺灣の農村における「協同」

今枝 眞一

|                  |       |
|------------------|-------|
| 一、文字について         | 大塚 秀明 |
| — 新簡化字を手がかりとして — |       |
| 一、謝靈運研究          | 小河原 晃 |
| 一、中國語の主語について     | 郷家一二三 |
| 一、李大釗研究          | 佐藤 一樹 |
| 一、「革命現代京劇」研究     | 白井 啓介 |
| 一、鮑照研究           | 寺田 正  |
| 一、魯迅研究           |       |
| △野草▽を通しての一考察     | 廣野 行雄 |
| 一、『矛盾論』の世界       | 保野 光邦 |
| 一、李賀研究           | 町田 靜隆 |
| 一、荀子の思想について      | 宮本 佳昭 |
| 一、蘇軾小論           |       |
| — 題畫詩の發展と東坡 —    | 宮代 哲彦 |

# 中華書局出版

南宋淳熙辛丑尤袤刻本

## 文選

蕭統編 李善注

●北京圖書館所藏本の覆刻

二十冊 全二萬  
十冊 全一萬  
四函六價

## 唐詩別裁集

(清)沈德潛編 (縮刷版) 五八〇圓

## 詞綜

(清)朱彝尊等輯 (縮刷版) 七〇〇圓

## 大字本

### 老子校詁

馬敘倫著 全三冊 二、〇八〇圓

### 讀通鑑論

(清)王夫之 全十冊 六二〇〇圓

### 史綱評要

(明)李贄評纂 全十冊 六〇〇〇圓

### 商君書注譯

高享注譯 全四冊 二、三三〇圓

內山書店新到書目錄第一號(五四九點掲載) 出來。御請求下さい。(送料百圓)

## 中國圖書 內山書店

電話 (03) 294-0671 (代) 振替口座 東京 116786番 丁101 東京千代田區神田保町1-15

小尾郊一・高志眞夫編

## 玉臺新詠索引 附玉臺新詠箋注

オフセット印刷 本文五〇〇頁

原文一九〇頁 B5判 上製堅牢クロス装

五百部限定出版 定價 八、五〇〇圓

索引の底本は「玉臺新詠箋注」(稻香樓藏版)を採用し、その影印を合冊し、活用に便ならしめました。

「玉臺新詠箋注」は、今までに四部備要所收の活字本と、石印本を影印したものの二種しか出版されていません。

乾隆三十九年稻香樓刊本の影印されるのは今回が初めてです。

この原本は近來多くは流通していませんから大いに役立つことゝ思います。

東京都千代田區神田保町二一七

發行所 有限 山本書店

電話 (〇三) 二六一一〇八四七 二六一一九三三七

書學術の談講高価声

羽音・京文・東京

社談講

字源の解釈が最も詳しい本格的な漢和！

大字典

■上田万年・岡田正之・飯島忠夫・栄田猛猪・飯田伝一 共編  
特装版Ⅱ A五判二、九六二頁／九八〇〇円  
普及版Ⅱ B六判二、九六二頁／四八〇〇円

古来の和語・漢語・事物名を総合集した類語辞典の覆刻！

日本類語大辞典

■芳賀矢一 校閲 志田義秀・佐伯常磨 共編  
A五判一、八八〇頁／七、八〇〇円

記紀・万葉から明治・太正までの人物四万二千名を収録！

大日本人名辞書全五巻

■編纂Ⅱ大日本人名辞書刊行会 B五判・各巻平均八一六頁  
現金価格Ⅱ四九、〇〇〇円（五巻セット）

明治末年の府県郷社約四〇〇〇社の誌料を収集！

明治神社誌料全三巻別冊索引一巻

■編Ⅱ明治神社誌料編纂所 A五判・各巻平均一、九一四頁  
現金価格Ⅱ四八、〇〇〇円（四巻セット）

国語の原義を極める堂高き名書の復刻！

日本語原學

■林獺臣著／林武 編／A五判・六五〇頁／五、七〇〇円

版館小学使いやすい辞典

●中辞典をしのぐ充実した本格的漢和

新選漢和辞典 新版

東京教育大学名誉教授 小林信明 編

●親字一万一千余。見出し語は実に6万4千を越え、語数内容ともに中辞典をしのぐ充実ぶりです。

●初めて漢字の中国読みにカナを併記しました。

●解字・人名・姓・地名など、解説欄を充実させました。

●使いやすい音訓・総画の両索引を採用しました。

B6小判・1,408ページ・ケース入り・1,200円

●このクラス随一の語数を誇る

新選国語辞典 新版

金田一京助・佐伯梅友・大石初太郎 編

●見出し語約7万8千。新音訓・新送り仮名の表記に準拠

●ことばの用法、表記の留意点を網羅しました。

B6小判・1,280ページ・ケース入り・1,100円

●微妙な語感をも深く解明

新選古語辞典 新版

筑波大学教授 中田祝夫 編

●上代から明治まで、古典読解に必要な十分な4万語を精選

●言葉の語源・意味・用法などから検討解説しました。

B6小判・1,360ページ・ケース入り・1,250円

# 大好評の 和刻本シリーズ

調点付き

長澤規矩也編

## 和刻本経書集成 正文・古注之部 全八冊

儒教の經典としてあまりにも有名な四書五経の読みやすい調点本  
正文之部 全四冊 B5判上製 定価各六五〇〇円

- ①五経白文一易・書・詩・礼記・春秋一 藤原提綱点・林羅山跋
- ②周礼・儀礼・公羊伝・穀梁伝・周礼正文 羅山及びその系統点
- ③春秋左氏伝・孝経・爾雅 ④論語・孟子等四書の最善本を取録古注之部 全四冊 入手困難な古注本を集大成 続刊

## 和刻本諸子大成 全十二冊

中国思想・史学研究者必携の諸子百家の稀観書六十数種を網羅。  
主な取録書 孔子家語・荀子全書 塩鉄論 管子 韓非子 齊民要術 五行大義 墨子全書 呂氏春秋 老莊翼等 51年7月完結

## 和刻本漢詩集成 唐・宋詩 全十六冊

漢詩の精華―唐宋の詩人別詩集を集大成刊行 全巻完結発売中！  
唐詩篇 ①②分類補註李太白詩(1)(2)等 ③④杜詩集註(1)(2)等 ⑤⑥唐柳河東集(1)(2)等 ⑦⑧唐韓昌黎集(1)(2)等 ⑨⑩白氏文集(1)(2)等 宋詩篇 ⑪⑫増刊校正文珠東坡先生詩(1)(2)等 ⑬東坡先生詩集 ⑭黄山谷詩集等 ⑮石湖先生詩鈔等 ⑯陸放翁詩集等

## 和刻本文選 全三冊

「書は文集、文選」と清少納言がたたえ、契沖が愛読した中国文学  
古典中の古典「文選」の六臣注・慶安版最善本を影印。足利学校遺蹟図書館所蔵宋版国宝文選(六臣注本)全六巻刊行記念出版。

## 和刻本漢籍随筆集 全十三冊

江戸時代より親しまれてきた中国随筆五十三種を集大成。 B5判上製本 四六〇〇〇円

## 和刻本正史 本巻・別巻全三十八冊

史記・三國志で知られる中国正史の調点本 大好評のロングセラー  
巻別明細(本巻) 史記・漢書・後漢書・三國志・晉書・宋書・南齊書・梁書・陳書・隋書・南史・北史・唐書・五代史・諸史抄(別巻) 東都事略 南宋書 明史彙編 廿二史劄記 残部僅少！  
▼本巻全30冊 一二五〇〇〇円 別巻全8冊 四二五〇〇〇円  
▼前四史セット(史記・漢書・後漢書・三國志計9冊) 三万六千円

## 和刻本資治通鑑(山名本) 全四冊

司馬光撰の本書は、史記と並び称される中国史書の双璧。 B5判上製本 二〇〇〇〇円

## 和刻本明清資料集 全六冊

明代から太平天国にいたる貴重資料を取録、なかでも「武備志」は明代に限らず中国研究全般にわたる軍事史の重要資料。  
①② 明季遺聞 中興偉略 八家集 滿清紀事 夷匪犯境聞見錄等  
③④⑥ 武備志 神器譜 B5判上製本・セット価四〇〇〇〇円

## 和刻本書画集成 全八冊

西川寧・長澤規矩也編 中国書画の図譜・論著76種の稀観本集大成。  
主な取録書 画禅室随筆・考槃餘事・竹雲題跋・内閣秘伝字府・図繪宗彝・訳本芥子園画伝・芥舟学画編・図繪宝鑑・梅譜・八種画譜  
古今印史・篆学入門ほか/B5判上製・定価各六五〇〇円・残部少

図書目録 一〇二 東京都千代田区飯田橋一丁目四  
電話二六五九七六四 振替一五八〇三五 汲古書院

大修館書店

# 対談 東洋の心

日本の心の原点を探る

諸橋轍次 ● 中村元

## 日本語への 希望

金田一春彦

最新刊!!

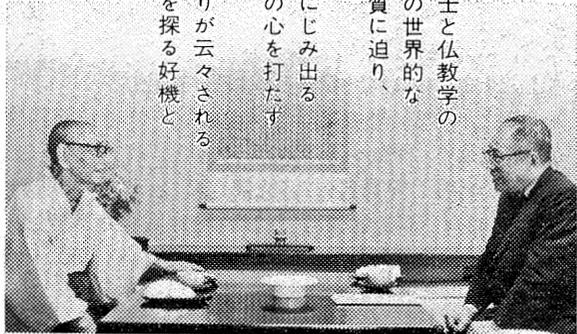
● B6判・上製 八〇〇円

漢学界の最長老、諸橋博士と仏教学の権威中村博士、この二人の世界的な学者が、儒教と仏教の本質に迫り、東洋の心を語る好対談。

深い学殖と鋭い洞察からにじみ出る珠玉の言葉は、読むものの心を打たすにおかない。

西欧物質文明の行きづまりが云々される今日、日本人の心の原点を探る好機といえよう。

日本語ブームといわれ、日本語をめぐっての論議が盛んである。人々がことばの新たなあり方を求めていることの反映であろう。長年にわたり、理論・実践の両面から日本語にかかわってきた本書の著者こそ、その求めに応ずるに最適の人である。豊かな学殖にユーモアをまじえながら、身近な出来ごとを例にあげて、活力ある明日の日本語への可能性を探る。 四六判・上製 一、二〇〇円



《書齋に一揃い、日本文化のバックボーンを》

# 大漢和辞典

諸橋轍次著

〈全13巻〉

今や専門家だけのものではありません。学習に実務に、日常生活に広く活用されています

〈最近の読者の声より〉

- 一日一ページをめくるだけで生活にはりが出て、ことばの世界が大きく開かれます。手アカで黒くなる程に愛用したいと思っています。(新潟県 栗原様 主婦)
- 日頃企業内教育をすることが多いため、言葉の意義、出典など調べることが多く、大変役立っています。(石川県 宮本様 経営コンサルタント)
- 青史にのこる大事業、文化英雄とはかかるものかと、序を読み、後記をみて感嘆久しいしました。国宝とはまさにこれです。(香川県 笹本様 大学教師)

■現金価格110,000円(分割払い方法もあります) ■内容見本進呈

〒101 東京都千代田区神田錦町3-24 振替番号/東京40504 電話294・2221<大代表>

## ○東京教育大學漢文學會々則

- 一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。
- 二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。
- 三、本會の會員は左の通りである。
  - 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大學、東京高等師範學校の漢文學關係教官(退官者を含む)
  - 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大學漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
  - 3 その他入會を希望する者
- 四、本會の主な事業は左の通りである。
  - 1 總會 年一回
  - 2 例會 年約七回
  - 3 會報及び會員名簿の發行
  - 4 その他必要な事項
- 五、本會の役員は左の通りである。
  - 委員長 一名
  - 委員 若干名
- 六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。  
委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。
- 七、委員長は委員の互選による。  
委員は東京教育大學學部學生中から四名、大學院學生から二名、專任教官から三名、一般會員から四名をそれぞれの互選によつて選出する。その任期は二年(學生委員は一年)とする。但し重任は差し支えない。
- 八、會員は會費年額一千五百圓、(但し學生は半額)を納める。  
九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

## 後記

東京教育大學文學部も餘すところあと一年となり、いろいろと困難はありましたが、今年もようやく大會開催、會報發行の運びとなりました。會員諸氏の多大の御協力に對し、委員一同感謝しております。本學會は昭和七年の發足から數えて今年で四十五年、會報は本號で第三十五號になります。

今年も共立社に印刷をお願いし、いろいろと便宜を圖つてもらいました。ここに深甚の謝意を表します。

(向島記)

### 漢文學會々報第三十五號

昭和五十一年六月十日印刷  
昭和五十一年七月三日發行

東京教育大學漢文學會

編輯者

田部 井文雄  
中村 嘉弘  
向島 成美

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ二〇  
株式會社 共立社印刷所  
電 〇二〇二八

發行所

東京都文京區大塚三ノ廿九ノ一  
東京教育大學漢文學會  
振替東京五一四七六〇番